

## 厚生労働大臣杯争奪 第75回全日本実業柔道団体対抗大会

1. 日 時 2025年6月7日（土）9時30分開会式、終了次第試合開始、17時終了見込  
2025年6月8日（日）9時30分試合開始、15時30分大会終了見込
2. 会 場 北海道立総合体育センター（北海きたえーる）  
(〒062-8572 札幌市豊平区5条11丁目1番1号 TEL 011-820-1703)
3. 主 催 全日本実業柔道連盟
4. 主 管 東日本実業柔道連盟、（一社）北海道柔道連盟
5. 後 援(予定) 厚生労働省、（公財）講道館、（公財）全日本柔道連盟、北海道、北海道教育委員会、（公財）北海道スポーツ協会、札幌市、札幌市教育委員会、（一社）札幌市スポーツ協会、読売新聞社
6. 参加資格 (1)参加チームは、全日本実業柔道連盟に加盟し年会費を納めた会員であること。  
(2)参加チームは、会員及び事業所単位とし、男子1部は1社1チームまでとし、第2部、第3部は1社3チームまで参加を認める。  
(3)参加選手は、（公財）全日本柔道連盟に登録した者であり、全日本実業柔道連盟に加盟している会員に在籍し、選手登録をしている者であること。
7. 参加申込 全日本実業柔道連盟ホームページ (<https://www.jitsujuren.jp>) より申し込みをすること。  
(1)申込期日：2025年4月16日（水）17時まで  
(2)問合せ先：全日本実業柔道連盟 E-mail:zenjitsu@jitsujuren.jp TEL:03-6699-3040
8. 参 加 料 男子の部(各部)は30,000円/チーム、女子の部は第1部30,000円、第2部15,000円/チームとする。  
振込先：三井住友銀行 本店営業部 普通 9071854 全日本実業柔道団体対抗大会事務局  
(注)参加費は参加申込と同時に上記口座に振込むこと。振込みが確認できない場合は、大会の参加は認められない。また、振込みは必ず会員名ですること。  
なお、組合せ抽選終了後の参加辞退チームの参加費は返金しない。
9. 試合種目 男子の部は第1部・第2部・第3部、女子の部は第1部・第2部とする。  
第1日目 6月7日（土）男子の部 第3部、女子の部 第1部  
第2日目 6月8日（日）男子の部 第1部・第2部、女子の部 第2部  
※開催地北海道から特別参加として男子の部は第3部、女子の部は第2部への出場を認める。  
〔男子の部〕  
(1)第1部は12チーム、第2部は32チーム以内とし、それ以外を第3部とする。  
(2)本大会の試合成績により該当チームの昇・降格を行い、次年度に出場できる各部を次により決定する。  
① 第1部の1回戦で敗退した4チームは次年度第2部に降格する。  
② 第2部上位4チームは次年度第1部に昇格する。但し、第1部が2チームになる場合は昇格しない。  
※今回男子1部については、1社1チームへの移行特別処置として、前年度1部から2部降格チームの中で、1部降格で2部昇格の東芝以外の3チームについては1部残留とする。  
※男子2部の準々決勝が終了後速やかに、準々決勝にて敗れた4チームを大会本部にて役員立ち合いのもと厳正に抽選を行い、優先順位の1から4を決めておく。  
また、2部ベスト16にて優勝チームに敗れたチームを優先順位5、準優勝チームに敗れたチームを優先順位6とする。  
・2部ベスト4と重複するチームが1部に残留した場合には、優先順位の高い順から1部に昇格とする。  
・仮に翌年1部出場チームに欠場が出た場合にも、この優先順位の上位にいるチームが1部に出場できることとする。  
・大会要項に記載のない事項が生じた場合、大会本部にて速やかに検討・決定の上、当該チーム等に周知する。  
下位4チームは次年度第3部に降格する。下位4チームは1回戦で敗退したチームの中から抽選を行い決定する。但し、第2部が32チームに満たない場合には、そのまま第2部に出場する場合がある。(各部抽選の必要が生じた場合、大会本部にて役員立ち合いにより厳正に抽選を行い、該当チームに周知するとともにHPの大会結果に掲載する)  
③第3部の上位4チームは第2部に昇格する。  
(3)チーム編成は、第1部は監督1名・コーチ1名・選手7名・計9名、第2部および第3部は監督1名・コーチ1名・選手5名・補欠2名・計9名とする。トレーナーは各所属1名までとする。  
(4)第1部にエントリーするチームは、本要項「7. 参加申込」時点において5名以上の選手が揃っていないなければならない。また、第2部及び第3部は、補欠を除く全員が揃っていないなければならない。  
(5)試合方法は各部とも、チーム5名による点取り試合とする。  
(6)選手配列は、第1部に限り試合毎に変更することができる。第2部・第3部は、参加申込以降は配列の変更を認めない。

### [女子の部]

- (1) チーム編成は、第1部は監督1名・コーチ1名・選手57kg以下3名・70kg以下3名・無差別2名・計10名、第2部は監督1名・コーチ1名・選手57kg以下1名・70kg以下1名・無差別1名・補欠2名・計7名とする。トレーナーは各所属1名までとする。
- (2) 第1部にエントリーするチームは、本要項「7. 参加申込」時点において、各階級に最低1名以上の選手が揃っていなければならない。また、第2部は補欠を除く全員が揃っていなければならない。
- (3) 試合方法は、体重別に編成されたチームによる点取り試合とする。
- (4) 選手配列は、第1部は57kg以下2名、70kg以下2名、無差別1名の5名とし、各体重区分の中で試合毎に自由に変更することができる。試合当日に選手が事故のため出場不可能となるか、体重区分どおりに5名のチーム編成が組めない場合に限り、体重区分の軽い選手が重い体重区分への出場を認める。但し、一度移動した選手は元の体重区分へ戻ることはできない。また、無差別に登録した選手についての移動は認めない。  
第2部は57kg以下1名、70kg以下1名、無差別1名の3名とし体重別に配列する。
- (5) 計量【公式計量】6月6日(金)16時00分～16時40分(女子の部・第1部)  
6月7日(土)16時00分～16時40分(女子の部・第2部)  
15時30分～16時00分までを予備計量とし自由に計測することができる。  
計量場所 大会会場内女子更衣室 ※無差別級の計量は行わない。

## 10. 審判規程

- (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規程で行う。(2025-2028)
- (2) 試合時間は4分間。
- (3) 優勢勝ちの判定基準は「有効」または「僅差」以上とする。  
※「指導」差が2対0になった場合「指導」0の選手を「僅差」勝ち、「指導」差が1は引分け。
- (4) 「技の内容」と「指導」の重み。※【一本勝=反則勝>技あり>有効>僅差】の順とする。

## 11. 服装

- 2022年1月から国際柔道連盟が改正した柔道衣コントロールで実施する。  
全柔連規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。  
全柔連柔道衣規格合格品のリストは全柔連HPを参照すること。  
柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。(主催者は予備の柔道衣を準備しない。)

## 12. ゼッケン

- (1) 布地は白色とし、苗字を上部2/3、チーム名を下部1/3に男子は黒文字、女子は赤文字で記載する。サイズについては縦25cm～30cm、横30cm～35cmとすること。
- (2) 縫い付け位置は後襟から5cm～10cm下部に縫い付けること。

## 13. 試合方法

- (1) トーナメント方式で行い、各部ごとに「優勝」「準優勝」「第3位」を決定する。女子の1部については参加チーム数によりリーグ戦で行なう場合がある。
- (2) チーム間の勝敗は次により決定する。
  - ① 勝者数の多いチームを勝ちとする。
  - ② ①で同数の場合は一本勝、不戦勝ち、棄権勝ち、相手の反則負けによる勝者数の多いチームを勝ちとする。
  - ③ ②で同数の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
  - ④ ③で同数の場合は、「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
  - ⑤ ④で同数の場合は、次の通り「代表戦」を行う。※代表戦は個人戦同様で「僅差」決着なし。  
<男子の部>任意選出選手1名による代表戦を行う。規定時間内で得点差がない場合は、ゴールデンスコア(延長戦)にて、勝敗を決する。また上記代表戦において両者反則負け等で勝敗がつかなかった場合は、再度他の代表選手を選出し、代表戦を行う。  
<女子の部>「引分け」の階級の中から抽選で代表選手を選出し、いきなりゴールデンスコアにて、勝敗を決する。また、上記代表戦において両者反則負け等で勝敗がつかなかった場合は、再度抽選により他の階級から代表選手を選出する。なお、引分けの階級がない場合は、両者反則負け等で勝敗を決していない階級の中から代表選手を選出する。
- (3) リーグ戦における順位の決定について
  - ① チーム間の勝敗において、勝者数の多いチームを上位とする。
  - ② 勝者数が同数の場合は負数の少ないチームを上位とする。
  - ③ ②で同一の場合はリーグ戦中の個人の総勝数の多いチームを上位とする。
  - ④ ③で同一の場合は負数の少ないチームを上位とする。
  - ⑤ ④で同一の場合は勝者数の内容により決定する。
  - ⑥ ⑤で同一の場合は直接対戦での勝者数のチームを上位とする。
  - ⑦ ⑥で引き分けだった場合は、任意選出選手1名による代表戦を行う。規定時間内で得点差がない場合は、ゴールデンスコア(延長戦)にて、勝敗を決する。※代表戦は個人戦同様必ず決着をつける。
- (4) 試合場 大会会場内アリーナにて4試合場で行う。

14. 審判員  
(1) 審判員は全日本実業柔道連盟の委嘱による。  
(2) 審判員会議を 6 月 7 日 (土) 8 時 45 分～9 時 15 分、8 日 (日) 9 時 00 分～9 時 15 分に大会会場内 メインアリーナ東側会議室にて行う。
15. 表彰  
(1) 優勝チームには、優勝旗・優勝杯・賞状・賞品、第 2 位及び第 3 位チームには賞状・賞品を授与する。ただし、出場参加数により変更する場合がある。  
(2) 男子第 1 部、女子第 1 部の優勝チームには、厚生労働大臣杯を授与する。  
(3) 優秀選手には、優秀選手賞 (男子の部 各部 5 名、女子の部 各部 3 名) を授与する。
16. 抽選  
4 月 25 日 (金) 16 時 00 分から、東日本実業柔道連盟事務局 (ALSOK 本社会議室) にて「大会組合せの抽選とシード基準」に則り厳正に行う。
17. 選手変更  
5 月 23 日 (金)～26 日 (月) 17 時までに、登録外選手 2 名まで全実柔連事務局宛メールにて受け付ける。大会申し込み後にメールにて案内をする。※大会前日の選手変更は無し。  
なお、選手変更受付終了後、怪我・疾病により選手変更の必要が生じた場合のみ、6 月 4 日 (水)～5 日 (木) 15 時まで、1 名に限り選手変更を受け付ける。事務局宛に選手変更申込書及び医師による診断書 (PDF) をメールにて送付のこと。(接骨師の診断書は不可。医師の診断書が未添付の場合は受け付けない)  
<男子の部>登録選手以外からの変更は 1 チーム最大 2 名とする。その際、選手に欠員が出た場合は補欠員を充当し、補欠員が欠員となった時は登録外の選手を充当する。また、同一会社であっても部内外間の選手の入替は認められない。  
<女子の部>登録選手以外からの変更は 1 チーム最大 2 名とする。  
但し、6 月 4 日～6 日の選手変更については、1 名に限り医師の診断書を添付した者に限り認める。  
なお、その 1 名については選手変更の 2 名の人数には含まない。  
男子 2 部・3 部、女子 2 部については、一度退いた選手は再出場できない。
18. 練習会場  
6 月 6 日 (金) 13 時～17 時、7 日 (土) 8 時～16 時まで。両日とも男子は大会会場内武道場。  
女子はサブアリーナとする。(大会前日 13 時～17 時までと試合当日大会開始 20 分前まで試合場も練習会場として使用可とする。)
19. 監督会議  
6 月 6 日 (金) 16 時 45 分から大会会場内研修室において行う。
20. 開閉会式  
(1) 開会式は柔道衣を着用し、全員参列すること。  
(2) 日目に出場のチームで、勤務等の都合により開会式不参加の場合、5 月 30 日 (金) までに事務局宛メールにて欠席の旨を連絡すること。  
(2) 表彰式は入賞チーム及び優秀選手全員が柔道衣を着用し、参列すること。
21. 宿泊等斡旋  
宿泊・弁当 (大会当日) の手配を希望するチームは、直接斡旋団体へ申し込むこと。
22. 傷害保険  
本大会において当連盟は傷害保険 (死亡、後遺障害、入院に適用) に加入する。但し、試合中の傷害に対する補償のみとする。また、通院の補償には適用されないので各社又は各人は自己責任にて必ず傷害保険に加入すること。
23. 特記事項  
(1) 皮膚真菌症 (トンズラヌス感染症) について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。大会時に、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。  
(2) 脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。  
・大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。  
・大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは認めない。  
(受傷した時点で必ず専門医を受診すること。)  
・練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。  
・上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を提出すること。  
(3) 各チームの監督・コーチは、2025年度全柔連登録をしており、全柔連指導者資格 (ABCのいずれか) を有すること。  
(4) 大会で撮影された写真、映像の肖像権は主催者、主催者が認めた団体・共催者に帰属する。  
(5) 大会は YouTube ライブ配信を予定している。ライブ配信は主催者の YouTube チャンネル又は主催者が認めたチャンネルで配信される。  
(6) プログラムに掲載する大会申込情報は全実柔連ホームページ、また大会にて使用の記録・進捗システムに掲載・使用される場合がある。

以上